

古墳からモダン住宅まで

コース3 帝塚山体感ツアー

明治初期までのどかな農村だった帝塚山。明治半ばに阪堺鉄道など交通機関が発達し、船場の商人の別邸地として開発が始まりました。伝統的な日本建築の屋敷、モダンな邸宅などのまちなみがおしゃれな店舗とマッチし関西を代表する高級住宅地として知られています。

主なルート
(見学ポイント)

- 1 高野線帝塚山駅
- 2 帝塚山古墳
- 3 蔵のギャラリー
CLASSIC
- 4 高谷家住宅
- 5 阪堺電車
帝塚山三丁目
姫松の風景
- 6 万代池公園



②帝塚山古墳

帝塚山西2丁目

市内に残る3古墳のひとつ。5世紀頃の前方後円墳が、ほぼ原型をとどめているとされる。埋葬者は不明だが、付近に居宅のあった大伴金村の墳墓であるという説や、万葉集に「水江の浦島の子」が載っていることから、浦島太郎の墓であるという地元の伝承もあったようである。市内では珍しいカンサイタンポポがみられる。



④高谷家住宅

帝塚山中3丁目

登録有形文化財

切妻屋根のてっぺんには風見鶏、2つの屋根窓と煙突が童話のような雰囲気を見せる大正13(1924)年頃建築の住宅。応接室は船室に見立てて作られ、船窓のようにはめ込まれたステンドグラスはヨットの絵柄が描かれている。



⑤阪堺電車 帝塚山三丁目～姫松の風景

帝塚山三丁目～姫松は、ちん電のレトロな雰囲気と、帝塚山の住宅街、おしゃれなお店・ギャラリーなどモダンな雰囲気が交差する。ひと駅分、散策してみようと思わせる魅力的な風景がある。

⑥万代池公園

万代3丁目

聖徳太子が曼荼羅経をあげ、池に住む魔物をしずめたことから「まんだら」がなまり万代池になったという伝承がある。大正から昭和初期には池東側に「共楽園」という遊園地があり、賑わった。昭和15(1940)年には万代池公園として開園され、桜やかきつばたの名所として知られる。

